

〈NGO・外務省定期協議会 2023 年度第 2 回 ODA 政策協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. **議題案名**:
若手・中堅の国際協力NGOスタッフと外務省職員のODA政策コミュニケーション促進
 2. **議題の背景**:
NGO・外務省定期協議会では、長年、NGO側コーディネーターと外務省幹部により、多様なODA政策に関して議論が行われてきた。NGO・外務省定期協議会は素晴らしい成果を残しており、今後も継続していくべきであるが、協議会とは別に多様なチャネルを設けることで、若手・中堅職員が組織の立場を超え、自由かつ対等の立場でODAや開発協力の未来について議論する場があるとさらに良いと考える。
 3. **議題に関わる問題点(議題に上げたい理由)**:
外務省はNGOを「開発協力を進める上での重要なパートナー」としている。パートナー関係をより進化・深化させるために、これまでの資金協力・能力向上・対話に加え、NGO・外務省双方の若手・中堅職員が学び合える場の設置を提案したい。政策策定プロセスや事業実施プロセスのノウハウを学びあったり、事業を進める上での課題や困難への対処法を共有したりすることで、それぞれの現場における能力向上や新規事業の提案が見込まれるなど、メリットが多く考えられ、将来的にNGO・外務省定期協議会での議論を活性化させることも視野に入れる。
 4. **外務省への事前質問(論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係などがあれば)**:
なし
 5. **議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと)**:
 - ・ NGO・外務省双方の若手・中堅職員が参加する「異業種交流会」を開催し、Nピボ内外で参加を呼びかけ、ODAや国際協力の未来について議論する場を開催したい。本件に関する外務省の意見を伺いたい。
 - ・ 参考として、NGO側での取り組みを紹介したい。2022年7月より、40代以下の職員(スタッフ、インターン、ボランティア含む)が運営に参加するオンラインコミュニティ「Nピボ」を開設している。コロナ拡大以降、オンラインでの研修やイベント開催が定着し、対面で交流する機会が減少する中、昼休憩の時間を活用して、「NGO経営」・「アドボカシー」・「セクター魅力向上」・「開発・緊急支援」の4つのチームが勉強会や意見交換を重ねている。2023年10月末現在、合計20回のイベントを開催し、延べ533人が参加している。 <https://n-pivo.jp/>
 - ・ 2023年7月には、外務省の日下部英紀・国際協力局審議官をお招きし、開発協力大綱に関して説明いただいた。 <https://n-pivo.jp/info/report/20230829.html>
- 氏名:井川定一、佐野光平、鈴木亜香里、立花香澄、堀内葵
➤ 役職:理事
➤ 所属団体:Nピボ(N:Pivo)

以上